

## 令和5年度第9回理事会議事録

日 時：令和5年12月13日（水）

第9回理事会 18時30分～21時05分

会 場：Web会議

出席者：射場副理事長、井阪副理事長、中野理事、工藤理事、鈴木理事、實光理事、  
都留理事、千葉監事、安積局長、田籠局長、早瀬局長、本田局長  
総務部天野

欠席者：中川理事長、稲村理事、

書 記：天野

### （1）承認事項

第8回理事会議事録

承認

### （2）報告事項

#### ア 各局事業進捗報告

事務局早瀬局長より資料参照のうえ来年度予算案の作成にむけて各部へ修正依頼行っていると報告があった。都留理事より臨床実習指導者講習会の開催費用として予算追加の申請があり井阪副理事長より50万円以内で年内に提出するよう指示があった。また實光理事より最終予算の締め切り日について質問あった。井阪副理事長より1月には完成させ最終は2月理事会審議にかけたいとの発言があった。

情報管理局安積局長より資料参照のうえセンターHP管理や広報、府士会ニュース掲載について報告があった。鈴木理事より府士会ニュースへの掲載について今後の方針について質問があった。井阪副理事長よりセンターHPへの掲載なども検討しているが年度内の移行はまだ難しいとの説明があった。

實光理事よりSE部のZOOMライセンスの取得とライセンス権限付与について報告あった。最終契約の段階で。まだ必要部署への権限譲渡に至っていないため今月中に進める。

生涯学習局田籠局長より資料参照のうえ第6回生涯学習研修集会に向けての進捗状況及び理学療法士講習会の管理、認定カリキュラムの進捗状況を報告あった。

教育局本田局長より資料参照のうえ第36回学術大会にむけての進捗状況ならびに認定臨床教育者講習会や後期研修の報告あった。

各部局の事業進捗報告後、千葉監事より事業進捗の達成度について予算とは別で事業進捗は100%達成できるように進めていくようにとの指摘があった。

#### イ 令和5年度「主催」症例検討会事業について

本田局長より資料参照のうえ報告があった。登録理学療法士不在の施設でも症例検討会の受講及び発表の場を確保するための事業として実施していく。今後は9月、2月の2期開催が行えるよう進めていく。症例検討会は各施設でも実施するよう促している。発表の機会がない会員や他施設からの会員からも意見がもらえる場として今後も必要と考えられるため継続して実施していく。

#### ウ 第36回大阪府理学療法学会 ポスター発送について

都留理事より、府士会ニュースの電子化に伴い例年通りの発送ができない。大阪府下の施設1,500以上に向けて配布費用として約16万円が必要となるため周知方法の再考する。

第36回大会は2月の郵送で配付予定。現状、紙媒体での送付を期待する施設が多い。

電子化に伴い学術大会の情報を得られず、大会参加者の減少につながる恐れもあると意見が

あった。他学会も近年電子化が進んでいるため、周知方法として SNS 利用し情報を小出しにしていくなどで電子化に移行できるよう検討を進めていく。

- エ 北支部の代議員 1 名欠員に伴う選挙の見送りについて  
井阪副理事長より、資料参照のうえ報告があった。欠員 1 名の再選挙は修了までの任期が短いことから行わないことでセンターも理事全員の賛同のうえ府士会に報告したとのことであった。

- オ 第 5 回生涯学習研修集会の開催報告  
田籠局長より報告あった。前回大会との変更点として①会場変更し費用の減額を図ったこと。②開催日を学術大会との連日開催から変更したことの大きく 2 点を変更した。結果として受講者アンケートは良かったが、参加者がオンラインを含めて企画当初の 500 名を大きく下回った（参加者実績 187 名）。原因として学術大会と合わせての広報が無かったことやオンライン研修開催の増加から広報が埋もれてしまったこと等が考えられる。今後は広報戦略の工夫や情報がいきわたる工夫が必要であると考えられる。  
工藤理事より収支の賃借料について質問があった。①賃借料に会場キャンセル料が含まれていないのではないかとのこと。田籠局長より財務部から第 35 回学会収支のほうに組み込まれていると報告を受けたとのこと。対応として学術大会と会場は一緒であったが事業内容が違うため収支報告の修正を検討する。②今後生涯学習研修集会を開催するにあたって会場賃借料をいくりにするのが適正なのか質問あった。会場となる大学により規定に違いがあるため、その都度対応していく。

- カ 論文査読者及び演題査読者の専門領域別人数について  
鈴木理事より資料参照のうえ報告があった。論文査読者 395 名、演題抄録査読者 849 名。演題の少ない領域に関しては大阪府内外より選定予定である。

- キ 稲村理事の退任について  
井阪副理事長により稲村理事は加療に専念することとなり退任届を受理したとの報告があった。

### (3) 審議事項

- ア 2024 年度前期市区町村士会講習会の講師について  
工藤理事より資料参照のうえ報告説明があった。各支部合計 20 件の申請がある。射場副理事長より申請のうち中支部 1 件について認定・専門の領域抜けの指摘があった。田籠局長より本件については確認が済んでおり登録の更新ポイントのみ承認する。  
本件は審議の結果、承認された。
- イ 第 6 回研修集会の日程について  
工藤理事より報告説明があった。当初予定した開催日第 22 回日本神経理学療法学術大会と重なるため 2024 年 10 月 5 日 6 日に変更する。本件について役員メールにて審議され全員の承認を受けている。本理事会にて追認された。
- ウ 挨拶状・年賀状の送付先の選定の一部改定について  
井阪副理事長より資料参照のうえ説明があった。内規の暫定送付先について「学会・研修集会等で依頼した講師等」の項を「研修集会で依頼した講師等」に改定する。本件は審議の結果、承認された。
- エ **【継続審議】** 第 6 回研修集会の企画内容について  
工藤理事より資料参照のうえ説明があった。8 領域（教育管理系、Womens health、

歩行、循環、ADL、スポーツ、運動器、基礎)で企画を進めていく。生活期・教育・Womens healthのセッションについて担当講師の提示があった。  
本件は、審議の結果承認された。

オ 2024年度センター主催研修会のタイトル・講師(案)について

工藤理事より資料参照のうえ説明があった。近畿圏のPTを中心に54件ピックアップされている。今後全国からも注目される研修会となるよう進めていく。射場副理事長より大阪の講師の育成にも繋がるような選定を今後検討して欲しく理事長から講師の登壇回数と所属士会を明確にするよう指示があったとの報告があった。鈴木理事より理学療法士資格を有しない講師(J-workoutの谷野先生)による研修予定が1件あるが承認してよいのかとの質問があった。本研修会については開催の是非についての判断情報が少ないため、センター主催で開催する場合はプレゼン資料作成を求めることとする。本理事会では54件中、53件が承認されうち1件は次回理事会での継続審議となる。

カ 理事補欠選挙の実施について

選挙の実施については役員メールにて審議にて理事全員の承認を受けている。本理事会で改めて追認された。井阪副理事長より資料参照のうえ今後の流れについて説明があり、2024年2月に選挙を実施し3月に当選結果報告、6月定時総会で承認される。当選から総会承認までは理事会にオブザーバーとして出席していただく予定である。  
また選挙の補欠枠について、選挙規定を改定変更して理事補欠としての次点を設けるのかどうかについて意見交換があったが、補欠枠や在任期間を考慮する必要あり次回の理事会にて継続審議する。

キ 2024年度大阪府理学療法士会理学療法士講習会(上半期)について

中野理事より資料参照のうえ説明があった。8件の申請のうちリモート開催が多く、今後は対面開催を進めていきたいが、開催方法について協会の規定には明示されていないためリモート開催での申請は否認できないとのことである。本件は審議の結果、承認された

ク 大阪府理学療法士会生涯学習センターHPの見直しについて

實光理事より資料参照のうえ説明があった。セミナー等検索の手間がかかるため変更・修正の必要性があると考えている。(株)シンカネット(HP管理業者)にて約15万円で修正可能。HPのセミナー検索ページのみ総替えになる。井阪副理事長・射場副理事長よりこれまでの経緯として、シンカネットの対応が遅いため、SE部が「STUDIO」を利用して構築してきている。それを現行継続する必要があるのかと意見があった。實光理事より以前提案のあった「STUDIO」は作成難易度が非常に高く辻畑部長からの引継ぎは難しいため今後更新する場合はシンカネットで現行をマイナーチェンジするのか、ホームページから変えてしまうのか、検討が必要であるとのこと。鈴木理事、工藤理事より検討するためにも、まず現在の問題点を理事や部員から意見集約していき、そのうえで修正に必要なプランを再考する必要があるのではないかと意見があった。本件は、審議の結果、継続審議となった。

4 その他

鈴木理事より臨床認定カリキュラムの講師料について、全員承認いただけたとの報告があった。講師のうち2名変更が生じた講師料変更に伴う講師変更ではないとの事。

井阪副理事長より会員より個人研究目的での施設及び所属長アドレスデータ発行の依頼があったが、個人情報保護の観点により拒否したとの報告があった。引き続き府士会と連携して進めていく。

定時総会の日程について2024年6月16日(日)の予定であったが日本リハビリテーション医学会と重なるため代議員の出欠に影響が出ることも考えられ日程調整する。

令和6年度事業予算について理事会とは別に1月中にオンライン会議を行う予定である。

大阪府理学療法士会生涯学習センター 理事会議題

【報告】

提出者	本田憲胤		職名	局長
議題	令和5年度 「主催」 症例検討会事業について			
内容及び 提出趣旨	<p>【目的】</p> <p>① 登録理学療法士が不在の施設においても、症例検討会の受講、発表機会を保障する。</p> <p>② 各領域（運動器、神経系、内部障害）での症例検討会の受講、発表機会を保証する。</p> <p>【開催アウトライン】</p> <p>開催日時、担当、開催方法、症例募集期間、座長設定方法、聴講者募集方法、受講登録方法（添付資料参照）</p>			
	添付資料（ファイル名）	R5.11.27_令和5年度「主催」症例検討会事業案		
理事会での 意見・内容等	<p>本田局長より資料参照の上、報告あり。登録理学療法士不在の施設でも症例検討会の受講・発表の場を確保するための事業として実施していく。今後は9月2月の2期開催できるよう進めていく方針。症例検討会は各施設でも実施するよう促しているが発表の機会がない会員や他施設からの会員からも意見がもらえる場として今後も必要と考えられるため継続して実施していく方針となる。</p>			
備考				
	対応部局または理事氏名	教育局 局長 本田憲胤		

大阪府理学療法士会生涯学習センター 理事会議題

【報告】

提出者	都留 貴志		職名	教育局担当理事
議題	第36回大阪府理学療法学会 ポスター発送について			
内容及び 提出趣旨	<p>例年ポスター発送については、2月の府士会ニュースの発送時に同封しておりましたが、ご承知の通り、府士会ニュースが電子化されたため、例年通りの発送が叶いません。また、大阪府下の施設は1500以上ありますので、ポスター発送となると手間と費用が掛かることとなります。</p> <p>※参考 近畿学会（滋賀）のポスター発送を事務所にて行った際は、封入作業は事務所にて行い、発送については業者に依頼し、対応（費用：約16万円）</p> <p>今後、フライヤーも含め広報の再考を図る予定としております。 （案）ポスターのダウンロード化など</p>			
理事会での 意見・内容等	<p>都留理事より、府士会ニュースの電子化に伴い例年通りの発送ができず大阪府下の施設が1,500以上あるため、配布費用として約16万円必要であるため周知方法の再考をしたいとの事であった。</p> <p>第36回大会は2月の郵送で配布予定。現状、紙媒体での送付を期待する施設が多く、電子化に伴い学会大会の情報を得られず、大会参加者の減少につながる恐れもあると意見あり。他学会も近年電子化が進んでいるため、周知方法としてSNS利用し情報を小出しにしていくなどで電子化に移行できるよう検討を進めていく方針となる。</p>			
備考	対応部局または理事氏名		教育局担当 理事 都留貴志	

## 大阪府理学療法士会生涯学習センター 理事会議題

## 【報告】

提出者	井阪 美智子	職名	副理事長
議題	北支部の代議員1名欠員に伴う選挙の見送りについて		
内容及び 提出趣旨	北支部の代議員に1名欠員が生じたことに伴い、府士会は定款に則り欠員補充の検討をされましたが、選挙費用や準備期間(公示から開票まで約3カ月間)を考慮し、今回は選挙を見送りたいとの申し出がありました。センターとしても次の代議員選挙まで欠員1名の影響は少ないと考えられ、センター理事全員の賛同を確認のうえ、府士会に報告しましたので、ここに報告致します。		
	添付資料（ファイル名）	なし	
理事会での 意見・内容等	井阪副理事長より、資料参照の上、報告あり。欠員1名の再選挙なしでセンターも全員の賛同の上、府士会に報告したとのこと。		
備考			
	対応部局または理事氏名	副理事長 井阪美智子	

大阪府理学療法士会生涯学習センター 理事会議題

【報告】

提出者	田籠慶一		職名	生涯学習局局长
議題	第 5 回生涯学習研修集会の開催報告			
内容及び 提出趣旨	<p>第 5 回生涯学習研修集会の運営を全て終了致しましたので、運営内容を報告いたします。</p>			
	添付資料（ファイル名）	第 5 回生涯学習研修集会開催報告（PDF）		
理事会での 意見・内容等	<p>田籠局長より報告あり。前回大会との変更点として①会場変更し費用の減額を図ったこと。②開催日を学術大会との連日開催から変更したことの大きく 2 点変更した。結果として受講者アンケートは良かったが、参加者がオンラインを含めて企画当初の 500 名を大きく下回った（参加者実績 187 名）。原因として学術大会と合わせての広報が無かったことやオンライン研修開催の増加から広報が埋もれてしまったこと等が考えられる。今後は広報戦略の工夫や情報がいきわたる工夫が必要であると考えられる。</p> <p>工藤理事より収支の賃借料についての確認あり。①賃借料に会場キャンセル料が含まれていないのではないかとのこと。田籠局長より財務部から第 35 回学会収支のほうに組み込まれていると報告を受けたとのこと。対応として学術大会と会場は一緒であったが事業内容が違うため収支報告の修正を検討する方針となる。②今後生涯学習研修集会を開催するにあたって会場賃借料をいくりにするのが適正なのか質問あり。会場となる大学により規定に違いがあるため、その都度対応していく方針となる。</p>			
備考	対応部局または理事氏名		第 5 回実行委員長 田籠慶一	

大阪府理学療法士会生涯学習センター 理事会議題

【報告】

提出者	鈴木俊明		職名	査読委員会 委員長
議題	論文査読者および演題査読者の専門領域別人数について			
内容及び 提出趣旨	論文査読者および演題査読者の専門領域別の人数を報告します。 今後は、少ない領域に関しての査読者を大阪府内外で選定していく予定です。			
		論文査読者	演題抄録査読者	
	基礎理学療法	48	73	
	神経理学療法	87	182	
	運動器理学療法	90	207	
	内部障害理学療法	64	146	
	生活環境支援理学療法	66	137	
	物理療法	9	26	
	教育・管理理学療法	31	78	
	合 計	395	849	
	添付資料			
理事会での 意見・内容等	鈴木理事より資料参照の上、報告あり。論文査読者 395 名、演題抄録査読者 849 名。 少ない領域に関しては大阪府内外より選定予定とのこと。			
備考				
	対応部局または理事氏名		生涯学習局 理事 鈴木俊明	

大阪府理学療法士会生涯学習センター 理事会議題

【審議】

提出者	工藤慎太郎		職名	生涯学習局理事
議題	2024 年度前期市区町村士会主催研修会の企画内容について			
内容及び 提出趣旨	<p>(提出趣旨)</p> <p>2024 年度前期市区町村士会主催研修会の企画内容について承認いただきたい。</p> <p style="text-align: right;">添付資料：あり</p>			
	添付資料（ファイル名）	2024 年度前期市区町村士会主催研修会リスト 研修会開催申請書・収支予算書		
理事会での 意見・内容等	<p>各支部より合計 20 件申請あり。射場副理事長より質問あり。中支部からの申請で 1 名認定・専門の領域抜けあり。田箆局長より確認済との事で登録の更新ポイントのみでよいとのこと。</p> <p>審議の結果、承認となる。</p>			
備考				
	対応部局または理事氏名	生涯学習局 理事 工藤慎太郎		

大阪府理学療法士会生涯学習センター 理事会議題

【審議】

提出者	工藤慎太郎		職名	生涯学習局理事
議題	第6回研修集会の日程について			
内容及び提出趣旨	<p>(提出趣旨)</p> <p>第6回研修集会の日程について、2024年9月28日29日に決定しておりました。しかし、神経理学療法学会と日程が重複していることが判明しました。</p> <p>研修集会の趣旨から、神経理学療法学会との重複により</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 講師の承諾が難しい</li> <li>2. 受講生が集まらない</li> </ol> <p>という2点の問題がありますので、第二希望の10月5-6日に変更したいため、審議頂きたい。</p> <p>なお、10月5-6日は現在のところ、主要な理学療法学会との重複はなく、すでに第一候補で講師を快諾いただいた高橋先生も可能と連絡を得ています。</p> <p>添付資料：あり</p>			
理事会での意見・内容等	<p>工藤理事より報告あり。元々の開催日では神経理学療法学会と重なるため10月5日6日に変更となった。メール審議済であり追認となる。</p>			
備考	対応部局または理事氏名		生涯学習局 理事 工藤慎太郎	

## 大阪府理学療法士会生涯学習センター 理事会議題

## 【審議】

提出者	井阪 美智子	職名	副理事長
議題	挨拶状・年賀状の送付先の選定の一部改定について		
内容及び 提出趣旨	挨拶状及び年賀等の送付先の内規について、選定要件のうち、暫定送付先(該当年度のみ)として学術大会で依頼した講師を挙げておりますが、学術大会は大会運営局にて礼状を出す機会があるため、リストから削除したいと思います。 ご審議のほどよろしくお願い致します。		
	添付資料（ファイル名）	挨拶状及び年賀状等の送付先リストの選定について	
理事会での 意見・内容等	井阪副理事長より資料参照の上報告あり。内規の暫定送付先について「学会・研修集会等で依頼した講師等」を「研修集会で依頼した講師等」に変更する方針となる。		
審議結果	審議の結果、承認となる。		
備考			
	対応部局または理事氏名	副理事長 井阪美智子	

大阪府理学療法士会生涯学習センター 理事会議題

【審議】

提出者	工藤慎太郎		職名	生涯学習局理事
議題	第 6 回研修集会の企画内容について			
内容及び 提出趣旨	<p>(提出趣旨)</p> <p>第 6 回研修集会の内容について、前回の理事会と講師依頼の承諾状況を踏まえて、再度検討いたしましたので、ご審議ください。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 集会内容を教育管理系、Womens health、歩行、循環、ADL、スポーツ、運動器、基礎の 8 領域としたい。</li> <li>2. 教育管理系は実技が難しいため、講師に講義していただいた後、グループディスカッションを行い、新人教育について養成校と医療機関のセラピストで議論してもらい、悩みや良い取り組みについて議論したい。(内容は今後、講師と打ち合わせしながら決めていく)</li> </ol> <p style="text-align: right;">添付資料：あり</p>			
	添付資料 (ファイル名)	第 6 回研修集会講師と概要		
理事会での 意見・内容等	<p>工藤理事より資料参照の上、報告あり。8 領域 (教育管理系、Womens health、歩行、循環、ADL、スポーツ、運動器、基礎) で企画を進めていく方針。生活期・教育・Womens health のセッションについて講師の提案あり。</p> <p>前回継続審議となっていたが、審議の結果、承認となる。</p>			
備考				
	対応部局または理事氏名	生涯学習局 理事 工藤慎太郎		

大阪府理学療法士会生涯学習センター 理事会議題

【承認】

提出者	工藤慎太郎		職名	生涯学習局理事
議題	2024 年度センター主催研修会のタイトル・講師案			
内容及び 提出趣旨	<p>(提出趣旨)</p> <p>2024 年度センター主催研修会 (54 件) の講師と内容について審議いただきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今後、各講師に内諾を得ていく過程で減少する可能性を考慮して、少し多めに組んでいます。</li> <li>・ 近畿圏の PT を中心に、全国から著明な講師をピックアップすることで、センター主催研修会のステータスをローカルな研修会から、全国的にも注目度の高い研修会にする。</li> <li>・ 今後は、広報活動の戦略を練っていく。</li> </ul> <p style="text-align: right;">添付資料：あり</p>			
	添付資料 (ファイル名)	2024 年度センター主催研修会のタイトル・講師案		
理事会での 意見・内容等	<p>工藤理事より資料参照の上、報告あり。近畿圏の PT を中心にピックアップ、54 件報告あり。今後全国からも注目されるような研修会となるよう進めていく。射場副理事長より大阪の講師の育成にも繋がれるような選定を今後検討していただきたいとの事。また理事長より伝言で講師の登壇回数と所属部署が分かるようにして欲しいとの事。鈴木理事より質問あり。理学療法士資格を持たない講師の研修の予定が 1 件あるが承認してよいのかとのこと。J-workout の谷野先生の研修会については開催の是非についての情報が少ないため、センター主催で開催するのであればプレゼン資料作成していただき、工藤理事より報告しそのうえで審議する方針となる。</p> <p>54 件中、53 件承認となり、1 件は次回に持ち越しとなる。</p>			
備考				
	対応部局または理事氏名	生涯学習局 理事 工藤慎太郎		

大阪府理学療法士会生涯学習センター 理事会議題

【審議】

提出者	井阪 美智子		職名	副理事長
議題	理事補欠選挙の実施について			
内容及び 提出趣旨	<p>稲村理事(事務局担当理事)の退任に伴い、理事1名の補欠選挙を選挙規程の第3条及び第4条に従い実施いたします。本件については、選挙の公示及び日程の期間を考慮し、予め会員に向けた広報(府士会ニュース及びセンターHP)を行うため急を要し、先に役員MLにて審議のうえ理事全員の承認を得ました。本理事会にて追認をお願い致します。</p> <p>また、補欠選挙はインターネット選挙システム i-VOTE を使用するため外部委託費 43,340 円を未計上として支出致します。</p>			
	添付資料(ファイル名)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料1 生涯学習センター役員(理事)補欠選挙実施要綱</li> <li>・資料2 理事補欠選挙までのスケジュール</li> <li>・資料3 インターネット選挙システム i-VOTE 見積明細書</li> </ul>		
理事会での 意見・内容等	<p>井阪副理事長より資料参照の上、今後の流れについて、2月に選挙を実施し3月に結果報告後から理事会に出席していただく方向との報告あり。また補欠枠について、選挙規定を変更して理事の次点を設けるのかどうかについて意見交換あり。補欠枠や在任期間を考慮する必要あり。</p>			
審議結果	<p>選挙の実施についてはメール審議にて承認されているため、追認となる。補欠枠については継続審議となった。</p>			
備考				
	対応部局または理事氏名	副理事長 井阪美智子		

## 大阪府理学療法士会生涯学習センター 理事会議題

## 【審議】

提出者	中野治郎	職名	生涯学習局理事
議題	2024年度 大阪府理学療法士会 理学療法士講習会(上半期) について		
内容及び 提出趣旨	<p>(提出趣旨)</p> <p>2024年度の大阪府理学療法士会理学療法士講習会(上半期)を募集したところ、資料のように8件(継続6件、新規2件)ございました。</p> <p>内容としては、受託研修部(講習会担当)で確認したところ問題はございませんでしたので、ご承認いただきたく存じます。</p> <p style="text-align: right;">添付資料：あり</p>		
	添付資料(ファイル名)	2024年講習会リスト(上半期)	
理事会での 意見・内容等	<p>中野理事より資料参照の上、報告あり。8件の申請あり。リモート開催が多く、今後は対面開催を進めていきたいが、協会として規定を定めているわけではないため、講師側からリモート開催で申請されれば認めていくしかないとのこと。</p> <p>審議の結果、承認となる。</p>		
備考			
	対応部局または理事氏名	生涯学習局 理事 中野治郎	

大阪府理学療法士会生涯学習センター 理事会議題

【審議】

提出者	實光 遼	職名	理事
議題	大阪府理学療法士会生涯学習センターHP の見直しについて		
内容及び 提出趣旨	<p>現在ある HP の改善・刷新を検討しています。背景として、現在の HP は一般会員がセミナー等を検索する際に、かなりの手間がかかり、一つ一つ内容を確認する必要があります。また、センター主催で後期研修を盛んに実施しておりますが、登録 PT を取得するために必要な研修を検索しづらい形態であると捉えております(カリキュラムコード等で検索できず日付がメインになっています)。</p> <p>そこで、現在ある HP の改善・刷新の審議をお願い致します。具体的な費用はシンカネットさんで最大 15 万円程度とのことです。時期は来年4月より運営開始となると、1~2 月頃から作成作業が必要になります。センター主催の研修会を前面に出すことなど、独自の HP を持つ意味を損なわず(より明確に)、受講者側に沿った HP への変更をご検討していただければと思います。よろしくお願い申し上げます。</p>		
	添付資料 (ファイル名)		
理事会での 意見・内容等	<p>實光理事より資料参照の上、報告あり。セミナー検索の手間がかかるため変更・修正の必要性があると考えている。シンカネットにて 15 万円で修正可能とのこと。修正していくのであれば HP のセミナー検索ページのみ総替えになるとのこと。井阪副理事長・射場副理事長よりシンカネットの更新が遅いため、シンカネットで修正する必要があるのかと意見あり。實光理事より理事会にて HP 変更の際に以前提案されていた「STUDIO」では難易度が高く辻畑局長からの引継ぎが難しいとのこと。継続して今後更新していくのであればシンカネットでマイナーチェンジするのか、ホームページから変えてしまうのか、検討必要とのこと。</p> <p>鈴木理事・工藤理事より検討するためにも、まず現在の問題点を理事や部員から意見集約していき、その上で修正に必要なプランを再考する必要があるのではないかとのこと。</p>		
審議結果	審議の結果、継続審議となる。		
備考			
	対応部局または理事氏名	情報管理局 理事 實光 遼	